

柘植地域

# まちづくりだより

## 第223号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地

(柘植地区市民センター内)

〒五二九-1402

電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

発行日

二〇一八(平成三十)年十一月一日(木)

柘植地域俳句コーナー

眉凜凜

父似の吾子の

七五三

岩倉佳子

### 柘植地域で移住ツアー開催される! 地域づくり推進課事業に協力



10月13日(土)、伊賀市地域づくり推進課主催の移住交流体験会が「わがまち」柘植地域にて開催されました。

10時から柘植地区市民センターでオリエンテーションがあり、地域づくり推進課のあいさつの後、半田三都生まち協会長が歓迎のあいさつを申し上げました。当日は、京都市宇治市、滋賀県大津市、三重県四日市市から3家族の参加がありました。

ゲストトークのコーナーでは、山出区に移住してこられた中井勇介さん、上町区に移住してこられた徳永さんご一家からそれぞれの「柘植暮らしリアルトーク」がありました。

お昼は、旧柘植保育園にある「杜のカフェいこいこ」でランチを、そして午後は旧大和街道沿いを中心に柘植地域の「まちあるき」、さらに移住者の住まいを実際に見学したり、「道の駅いが」を見学したりと盛りだくさんのメニューで参加者の知りたいところ、見たいところに迫った企画でした。

限られた時間での催しだったので、柘植地域を気に入っていただけただかどうかわかりませんが、これをきっかけに何度も柘植に来ていただけて、本当に柘植に移住していただけるよう地域としても努力していききたいものです。

伊賀市行政当局も、移住者獲得には熱心であり、地域として日頃から「おもてなし」の準備をしておくと同時に、区やまち協が連携して、移住後のフォローもしていきます。(221号参照)

要は日頃から生活課題を解決し暮らしやすい区やまちをつくれる体制づくりがなにより必要なのです。



**柘植駅発着ウォーキング**



**柘植へ27名がお越しになりました**

関西本線木津亀山間  
活性化同盟会・伊賀市主催

**JR関西本線沿線ウォーキング**

**「芭蕉のふるさとを訪ねて」**

10月13日(土)朝から昼過ぎにかけて、柘植駅発着のウォーキング大会が開催され、県内外各地から27名が参加され、徳永寺、柘植歴史民俗資料館、万寿寺、芭蕉公園、芭蕉翁生誕宅址跡、横光公園などを巡りました。

途中、俳句を投句するなどの企画もあり、秋の一日を柘植で楽しまれたようです。

まち協も、関西本線木津亀山間活性化同盟会(今年度、伊賀市が当番のこと)に協力し、開会行事では城出憲一副会長が柘植地域の魅力の紹介と歓迎の言葉を申し上げ、おもてなしをさせていただきました。

**柘植駅の周辺整備と**

**イルミネーション設置を**

**めざして…**

柘植駅を核とする公共交通のあり方検討委員会

柘植駅発着のウォーキング大会に先立つ10月10日(水)には、地域として「おもてなし」を充実させようと、柘植駅を核とする公共交通のあり方検討委員をはじめ賛同者8名で、柘植駅前の環境整備を行いました。

11月頃には、イルミネーションを点灯する予定です。ご期待ください。



**柘植駅は伊賀市の東玄関、そして地域の財産です!**



また、以前より懸案になっていました柘植タクシーと中村屋の間にあるサクラの木枝処理や停留所付近にあった根っこの処理、簡易な柵の設置も作業を行い、利用者の安全対策を行いました。(中段写真参照)

今後、冬場のうちに、伊賀市ならびに三重県とも相談をして、駅前の交通安全など課題解決を図る予定です。



麓から山頂近くまで担いで運び作業しました。



### ①油日岳や旗山の木段整備

11月3日(土)の早朝(午後)にかけて実施されるトレイルランニング大会に向けて、様々な立場から準備を進めています。

スポーツ実行委員会

8日(月)、約20名の有志とまちづくり協議会関係者3名が整備に精をだしました。トレイルに限らず登山の際には多くの方々が助かる。いこま。



# おもてなしの心で... トレイルランニング大会を迎えたい



### ②小学生にトレランを紹介



10月17日(水)朝、柘植小学校の児童集いで、主催者である事務局の恵川さん、田さん、宮さん、と説明して、たいがきまらなクナ。入れてもらいました。

### ③市道(余野、横地野線)補修

柘植地区市民センター後半の、奥余野から經由の市道は毎年台風等の大雨の水で路面が削られてしまいが、伊賀支所の年ほどではありませ



注目!

**コース誘導、応援、そしてエイドでの豚汁ふるまい...**

柘植地域を400人を超えるランナーが安心安全に気持ちよく走ってもらえるよう21カ所で誘導と応援を行います。

また市民センターはエイドステーションにもなり、ボランティアで、豚汁のふるまいなどを行うなどのおもてなしを計画しています。

写真は昨年大会の様子です。今回はさらにランナーが増えるとのこと。



誘導やふるまいなどのボランティア活動を現在約40名で準備を進めています。  
※ボランティアは現在も募集中です。お問い合わせはまち協事務局まで

材料10月25日(木)朝、関係者5名で路面の凹凸を



